



LIXIL ハンドルセット・シリンダーセット・箱錠セット 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡してください。

■取付け上のお願い

- 本製品の鍵穴に、スプレー式潤滑油(CRC556など)やマシン油を注入しないでください。作動不良などの不具合の原因になります。万一鍵がスムーズに動かない場合は、当社指定の鍵穴用パウダー潤滑材(DASZ020)又は鉛筆の芯を粉状にして注入してください。

■梱包明細

※取付け前に必ず梱包内容をご覧ください。

■ハンドルセット(別途手配)

名称	入数	詳細
レバーハンドルセット	1セット	皿小ねじM4×12/2本

■シリンダーセット(別途手配)

名称	入数	詳細
シリンダー	1セット	シリンダー/2個、子鍵/5本、工事キー(コンストラクションキー)/3本 <1ロック仕様の場合>* シリンダー/1個、子鍵/5本、工事キー(コンストラクションキー)/3本 または、シリンダー/1個、オーナーキー/1本、子鍵/4本、工事キー(コンストラクションキー)/3本

■箱錠セット

名称	入数	詳細
メイン箱錠	1個	皿小ねじM4×12/2本
サブ箱錠*1	1個	皿小ねじM4×12/2本
サムターン*2	1セット	サムターン/2個、皿小ねじM5×40/4本 <1ロック仕様の場合>* サムターン/1個、皿小ねじM5×40/2本 <セキュリティサムターン仕様の場合> サムターン・セキュリティサムターン/各1個、皿小ねじM5×40/4本
取付け説明書	1枚	-

※1 1ロックの場合は、「サブ箱錠」は梱包されません。

※2 エントリーシステムの場合は、「サムターン」は梱包されません。別途手配品エントリーセットに電動サムターンが梱包されています。

■取付け順序

1 メイン箱錠・サブ箱錠の取付け

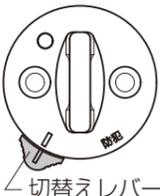
- ①皿小ねじでメイン箱錠を取付けます。
- ②皿小ねじでサブ箱錠を取付けます。

2 シリンダー・サムターンの取付け 【WNキーの場合】

- ①シリンダーを箱錠の丸穴に差込みます。
※シリンダーに上下の向きはありません。
- ②サムターンを箱錠の丸穴に差込みます。
※サムターンのつまみは縦にしてください。セキュリティサムターンの場合は切替えレバーを通常モードにした状態でサムターンのつまみを縦にしてください。
- ③サムターンをシリンダーにねじ止めします。
※サムターンは縦のとき解錠、横のとき施錠です。
※セキュリティサムターンの場合は、取付け後同梱の操作方法ラベルをサムターンの下に張ってください。
※メイン・サブ用のシリンダー、サムターンの区別はありません。(2ロック仕様の場合)

■セキュリティサムターン詳細図

通常モード

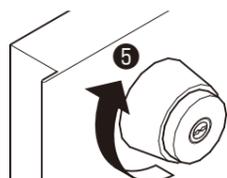


防犯モード



【DNキーの場合】

- ①シリンダー座を反時計回りに回し、シリンダー正面に移動させてください。
- ②シリンダーの刻印を上に向け、箱錠の丸穴に差込みます。
- ③サムターンを箱錠の丸穴に差込みます。
※サムターンのつまみは縦にしてください。セキュリティサムターンの場合は切替えレバーを通常モードにした状態でサムターンのつまみを縦にしてください。
- ④サムターンをシリンダーにねじで仮締めします。
※サムターンは縦のとき解錠、横のとき施錠です。
- ⑤シリンダー座をドアの表面に合わせ締め込み、仮締めしたねじを増締めします。
※セキュリティサムターンの場合は、取付け後同梱の操作方法ラベルをサムターンの下に張ってください。
※メイン・サブ用シリンダー、サムターンの区別はありません。(2ロック仕様の場合)



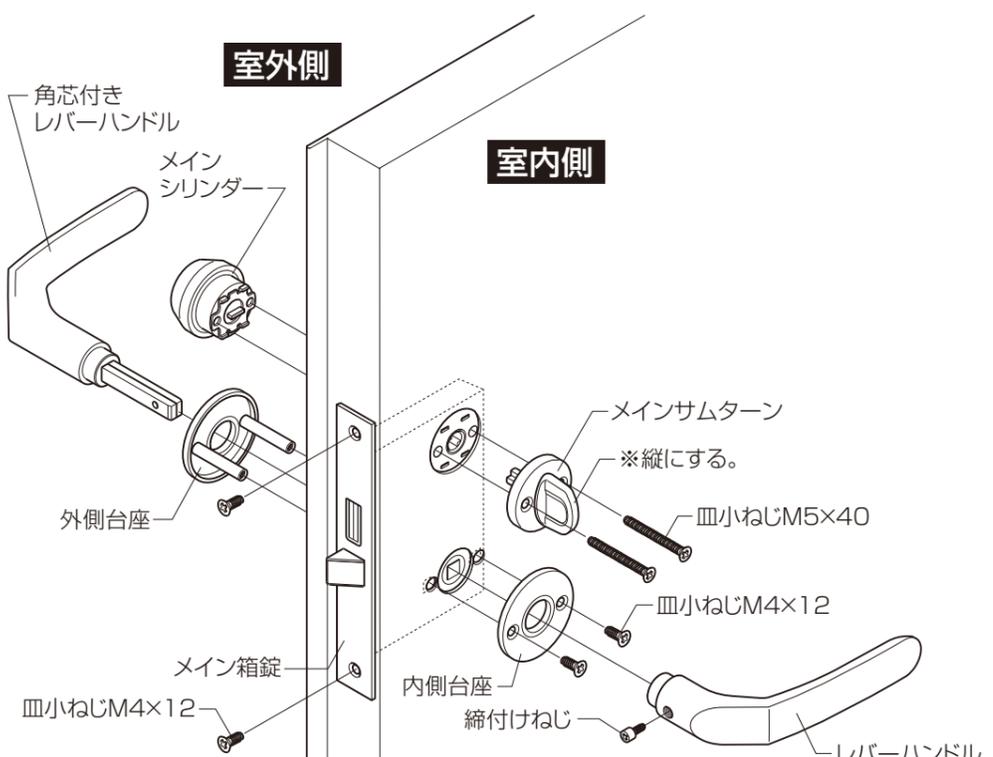
室外側

3 レバーハンドルの取付け

- ①外側台座を室外側から差込みます。
- ②内側台座を室内側から外側台座にねじ止めします。
- ③角芯付きレバーハンドルを室外側から差込みます。
- ④レバーハンドルを室内側から差込み、締め付けねじで固定します。

■コンストラクション装置について(装置付きの場合)

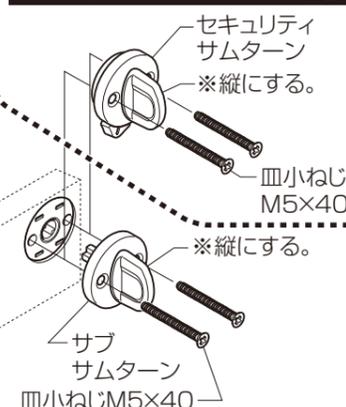
- シリンダーにはコンストラクション装置が組込まれています。施工の際は、工事専用のコンストラクションキーをご使用ください。施工後、施主さま専用キーを使用するとコンストラクション装置が解除され、以降はコンストラクションキーでは施解錠できなくなります。
- 封印シールが張ってあるシリンダーにはコンストラクション装置が組込まれていないため、お引渡し時にシールをはがし、作動を確認してください。(2ロック仕様の場合)



2ロック仕様の場合



セキュリティサムターンの場合



■操作方法ラベル張付け位置

